

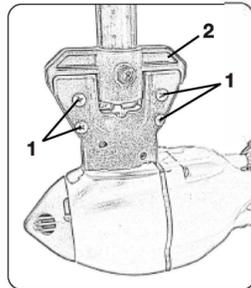


QUICK START GUIDE

此方のサイトでは；Bixpy 取付ガイド および その他の製品群についての小規模なりペア方法 についても確認して頂くことができます。Bixpy Jetに係る全てのユーザ・マニュアルを注意深くかつ完全に読む迄は、その使用をお控え下さい。Bixpy Jetの使用にあたっては；使用者側で、すべてのユーザ・マニュアルに記載されている安全性・責任の範囲と所在・リリースセクションの内容を理解し、了承したものとみなします。

<BIXPY J-2モーターの実装方法>

Bixpy J-2モーターには、4つの穴装着ポイントがあり、BixpyJapanにて販売されている各種アダプターを装着できるようになっています。アダプターを独自作製(DIY)してモーターに実装したい場合でもこの同じ装着ポイントを用いて行うことができます。Bixpyモーターとアダプターを固定するには、付属のM4スクリュー および ボルトを空いている隙間部分にアダプターをスライドさせて下さい。その際、モーターの差込口がアダプターの後部にポイントしている状態であることを確認して下さい。Phillipsスクリュー・ドライバーを用いて、4つのスクリューとボルトを固定して下さい。(締付け過ぎに注意)結束バンド および 付属のBixpy管クリップを用いて、電源ケーブルとアダプターを固定します。(必ずしも全てのアダプターに対してというわけではありません。)下の図を確認下さい。BixpyPPまでを繋ぐ道筋に、鋭利でくっきりした折れ曲がりワイヤ上に起こらないようにして下さい。



付属のM4スクリュー および ボルト(1)を用いて、BixpyモーターとBixpyアダプター(2)を固定して下さい。

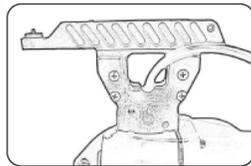
実装にあたって、自身のアプリケーションに対して独自にアダプターを作製したい場合には；www.bixpy.jp の説明を参照下さい。テンプレートをダウンロードし、アダプター上に作製する穴のパターンを検討下さい。

! スクリュー および ボルトの締付け過ぎに注意して下さい。アダプター および 標準装着ポイントにダメージを及ぼす可能性がある為です。

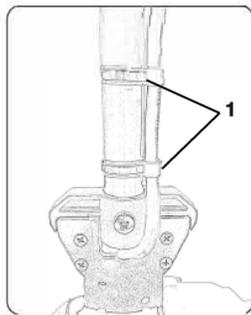
自身で用意・保持しているハードウェアを用いる場合には；ハイグレードなステンレス鋼のファスナーを使うことで、錆びるのを回避して下さい。

<ケーブルの配置方法>

モーターからの表出部分 およびアダプター周辺のケーブルがクリーンな状態で保たれていることを確認してください。くっきり折り曲げる事、ケーブルを引き出したり改変したりする事は、いかなる形であれしないで下さい。これらは、信号線心内側へのダメージ および デバイスの動作に支障を来す要因となります。



もし、フィンまたは舵付のアダプターを使用する場合には；単純にモーターからバッテリーへ向けてケーブルを走らせて下さい。結束バンドまたはコードにてワイヤを保護し、本体がほつれて引っ掛かったりしないようにして下さい。

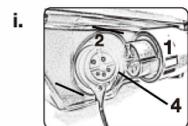


もし、Bixpyアダプターを鉛直管と併用する場合には；付属のBixpyワイヤ・クリップ(1) および 結束バンドを用いて、ケーブルとアダプター管を固定し、アダプター管までの道筋に必要な長さでケーブルを走らせて下さい。(BixpyPPに迄ケーブルを走らせる前に。)

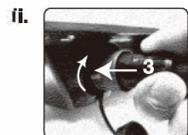
Bixpyワイヤ・クリップの追加購入は、以下のサイトを参照 → www.bixpy.jp

<OUTBOARD POWER PACK(OPP)の接続方法>

Bixpy OPPの接続方法は、上述のスラスタの接続方法とよく似ています。



コネクタ・ピン(1)をスラスタのコネクタ・ノッチ(2)に合わせて配列します。[ヒント] 新品状態の際には；コネクタ・ピンが外側にマークされています。(使用者にとって、容易に判別してもらえることを意図しています。)



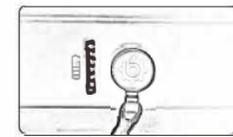
PPのコネクタ(4)へ、アダプタ・コネクタ(3)を差し込んで下さい。コネクタ・ナットを175°回転させて下さい。("ロック"されたという感触があったところ迄締めて下さい。)

警告：
BIXPYコネクタには防水加工がされていますが、それはあくまで接合が正常にされている場合に限られ、また、防滴性もそれが(露出されている場合)にのみ有効です。

<OUTBOARD POWER PACK(OPP)の操作方法>



Bixpy OPPのON/OFFは、付属の磁気式強制停止スイッチで行なわれます。よって、常にこれを身に付けておく必要があります。

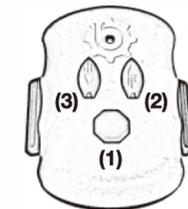


PPに強制停止スイッチを配置すると、システムがON(2回のビーブを伴う)になります。そして、充電状況LED表示部分にて、充電レベルを見ることができます。6つのLEDが点灯してるとフル充電であることを示し、充電ゼロであれば点灯しません。

最初にOPPが有効化されると、Bixpyリモート・コントローラを用いて、スラスタを操作することが可能になります。PPでは、12段階の前進速度、3段階の後退 および 完全停止の機能性を備えています。スラスタを、空中では動作させないで下さい！

もし、スラスタが想定した動作をせずに振動したり揺れたり異なる方向へ動くような場合その典型的な理由として考えられることは；コネクタの接合が不完全で、それにより水が入り込んでコネクタ・ピンにショートが発生することです。コネクタを取り外して、全てを完全に乾かしてから、正常な接合手順に沿ってPPを再接合してみてください。接続不良が繰り返される場合には、スラスタ および PPにダメージが及ぶ結果となり、その場合には品質保証の対象外となることをご留意下さい。

<リモコンとPOWER PACK(PP)の同期方法>



リモコンとPPとの同期が既になされているかの確認には、強制停止スイッチを用いてのPPの有効化をする必要があります。まずは、停止ボタンのみを押下します。ビーブ音が継続的に流れてくる場合にはリモコンとPPとの同期が既になされています。

リモコンとPPとの同期をする場合には強制停止スイッチを用いてのPPの有効化をする必要があります。PPが有効化されたら、10秒の間に以下に示す手順を行なって下さい。

- 1.停止ボタン(1)を3回押下
- 2.前進ボタン(2)を1回押下
- 3.後進ボタン(3)を1回押下
- 4.最後に、停止ボタン(1)を1回押下

Bixpyリモコンには、時計電池CR2032が搭載されています。オンラインまたは小売店で容易に入手できる既製品です。もし、ボタンを押下してもリモートのLED灯が明滅したり点灯しない場合には電池を交換する必要があります。電池の交換は、以下のサイトを参照 → www.bixpy.com/guides

<OUTBOARD POWER PACK(OPP)の充電方法>



製品として発送される内封物の一つである「Bixpy/バッテリー充電器」が、唯一用いられるべきPP用の充電器となります。その他のいかなる充電器 および 電気供給方法は、重大な火災を齎す危険性があることを留意下さい。バッテリー充電の際には；直射日光下/極端な温度環境下/湿り気のある状況下で行なわないようにして下さい。

PPの充電に際してはコンセント(110V~240V)へ充電器を差し込んで下さい。充電器にある緑のLEDが点灯するはずですが、バッテリーにある充電ポートへ充電器を差し込んで下さい(2ピン・コネクタ)。もし、バッテリーが充電不足となった場合には；緑のLEDが赤に変わり、充電が開始されます。充電ゼロ状態のOPPの場合；その充電時間は5時間以上必要となります。充電の最終段階になると；完全充電となる迄の間、LEDが緑と赤の交互に表灯します。

充電処理の間は、青のPP-LEDが点滅し、凡その充電レベルを明示します。完全充電となったら、これらのLEDは消灯します。

ゼロ充電のバッテリーを保管したままにしないで下さい。もし、使っていないとしても、年に1回はOPPを充電し、強制停止スイッチを用いて充電状況をモニタリングして下さい。完全に枯渇したPPは安全性の観点から遮断される可能性があり、よって使用不可となります。完全に枯渇となったバッテリーは、Bixpyの品質保証の対象外となります。

<その他の特性>



もし、Bixpyリモコンの電池切れ・リモコンを紛失した場合には、強制停止スイッチを用いることで、Bixpy Jetを50%の出力で起動させる事ができます。強制停止スイッチを配置して、PPを有効化して下さい。(LEDステータス・インジケータはONになっている必要があります。)その後すぐに、スラスタが起動するまでの間で、強制停止スイッチ・エリアから引き離してから戻してタップする動作を4回行って下さい。強制停止ボタンを引き離せば、スラスタを停止することができます。



パーソナルな電子機器(電話/タブレット/カメラ など)の充電にはBixpyよりUSBコネクタをお買い求め頂く事ができます。電源コネクタには防水性がありますが、USB側からのプラグ接続には防水性がないことです。



小型の電子機器(照明、ポンプ、その他小型のアクセサリ など)を動作させる為の12V電源ケーブルをお買い求め頂くこともできます。但し、12V出力では、スラスタが起動している時には、多くのソーナー装置に対して干渉してしまいます。よって、スラスタ稼働中は、魚群探知機が干渉していることが見受けられる事があります。



OPPには、浮揚性があります。よって、PPの水没を防止する効果がありますが、予期せぬ転覆の発生時において；ケーブルおよびスラスタへのダメージを回避させる為には、常にPPをウォータークラフトから保護しておく事が重要となります。



Bixpyリモコンには浮揚性があります。また、短くて一時的な水没(約2メートル=6フィート程度)であれば、それに耐える機能性を持っています。水没中には、リモコンの操作はしないで下さい。

警告 および 注意事項



- 1.使用者自身の力で、泳げる・パドルリングできる・ペダルバックできる距離や範囲を超えてBixpy Jets を絶対に使用しないで下さい。
- 2.その他のどのデバイスにもあるように、製品不良の可能性があることを念頭に置き、それが使用者に危険を及ぼすことが無いよう細心の注意を払って下さい。
- 3.麻薬やアルコールを摂取している おるいは その影響下にある状態での使用は絶対にしないでください。
- 4.年齢8歳以下での使用はしないでください。
- 5.子供による使用は、必ず大人の観察・監督下にある場合のみ行って下さい。
- 6.使用に際しては；長髪・ゆったりした衣服・その他の物などについて、プロペラに巻き込まれないように細心の注意を払って下さい。
- 7.常に、認可された救命胴衣(PFD)を着用して下さい。
- 8.使用後は、いつもクリーンな水で洗って・濯いで下さい。
- 9.コネクタの露出部分を、絶対に水に接触させないで下さい。コネクタが接合されていない時には、必ず付属のコネクタ。キャップにて覆って下さい。
- 10.操作および保管は、45°C (113°F) 以下で行なって下さい。
- 11.Bixpy製品群の洗浄には、刺激性の化学製品を使用しないで下さい。
- 12.プロペラ部分の洗浄の際にはそれに係るユニットの電源が切られている事を確認した上で行なって下さい。
- 13.リチウム・バッテリーについては従来型バッテリーのように並列接続はできません。実行した場合には、火災や爆発を誘発します。
- 14.焼き戻し、ケースを開ける事、バッテリーの改変がされた場合には品質保証の対象外となり、また火災や爆発を誘発する可能性があります。
- 15.Bixpyバッテリーを用いて、その他のデバイスやモーターを動作させないで下さい。
- 16.その他のバッテリーを用いて、Bixpy Jet Thruster(=スラスタ)を動作させることはできません。
- 17.直射日光に晒されている状態 および 駐車状態の車両に、OPPを長時間に渡って保管しないで下さい。
- 18.使用前には必ず、ユーザ・マニュアルをダウンロードして全てを読んでください。(www.bixpy.jp)



TELECHARGEZ LES MANUELS DE L'UTILISATEUR EN FRANCAIS
www.bixpy.com/UM



BAIXE O MANUAL DO USUÁRIO EM ESPANHOL
www.bixpy.com/UM



BAIXAR O MANUAL DO USUÁRIO EM PORTUGUÊS
www.bixpy.com/UM



SCARICA I MANUALI DELL'UTENTE IN ITALIANO
www.bixpy.com/UM



LADEN SIE DIE BENUTZERHANDBÜCHER IN DEUTSCH HERUNTER
www.bixpy.com/UM

お問い合わせ

Email : info@bixpy.jp
ユーザ・マニュアル および 取付指示書、写真、動画など

www.bixpy.com/guides

info@bixpy.jp

www.bixpy.jp

098-894-8833

<https://www.facebook.com/Bixpy-Japan-109142177243241>

<https://onl.tw/yiusLTv>

www.instagram.com/bixpyjapan/